

演劇への入口講座 第6回

演劇界のレジェンド『放浪記』を手がけて

— お堀端に咲く東宝演劇 —



『放浪記』稽古場にて
主演の森光子さんと
提供：東宝演劇部

帝国劇場、日生劇場、東京宝塚劇場などの名だたる大劇場が近隣に集まる日比谷で、演劇をより深く楽しむための講座の第6回を開催します。

昭和から平成にかけて、半世紀以上にもわたり人々に愛され続けてきた『放浪記』。この『放浪記』を始めとして、山田五十鈴、杉村春子、森光子らによる数々の名作を手がけた演出家・北村文典氏より、演出の立場から見る演劇の世界、そして日比谷の地と演劇との関わりについてお話いただきます。(協力：東宝株式会社)

講師 北村 文典 (きたむら ふみのり)

演出家。関西学院大学卒業後、東宝演劇部演出部に所属。菊田一夫、北條秀司、川口松太郎、榎本滋民、小幡欣治、花登筐、三木のり平の助手として演出を学ぶ。時代劇、人情劇、喜劇を中心に活動。『放浪記』には三木のり平が潤色・演出を務めた87年公演より参加し、2008年より演出を務めている。主な作品に『愛染め高尾』『晩菊』『桜月記』など。2015年、仲間由紀恵の主演で新たに『放浪記』を演出し、成功を収めた。



開催概要

- 日時：2016年6月5日(日) 14:00～15:30 (13:30 開場)
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名(事前申込順、定員に達し次第締切)
- 参加費：1,000円(千代田区民500円 ※住所が確認できるものをお持ちください。)
- 申込方法：来館(1階受付)、電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp) いずれかにて
 - ① 講座名、②お名前(ふりがな)、③電話番号をご連絡ください。